

令和4年度

(2022年度)

入学者選抜要項



国立大学法人
秋田大学
AKITA UNIVERSITY

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、日程、選抜方法等を変更する場合がありますので、随時本学ホームページの「入試情報」を確認してください。

この入学選抜要項は、秋田大学が実施する令和4年度入学選抜の概要をまとめたものです。
出願にあたっては、各選抜の学生募集要項で詳細を必ず確認してください。

秋田大学の入試区分等について

秋田大学の入試区分、実施学部は次のとおりです。

○一般選抜（大学入学共通テストを課す）

- ①前期日程 実施学部：全学部
- ②後期日程 実施学部：国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科，理工学部

○学校推薦型選抜

- ①学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
実施学部：教育文化学部
- ②学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
実施学部：国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科

○総合型選抜

- ①総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
実施学部：国際資源学部，教育文化学部，理工学部
- ②総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
実施学部：医学部保健学科，理工学部

○国際バカロレア入試

実施学部：国際資源学部，教育文化学部，理工学部

○私費外国人留学生入試

実施学部：全学部

○渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試

実施学部：理工学部

目 次

インターネット出願について	1
出願書類の評価方法について	2
令和4年度入学者選抜日程の概要	3
医学部医学科の募集人員について（申請予定）	4
I 募集人員	5
II 一般選抜	
1. 出願資格	6
2. 選抜関係日程	6
3. 一般選抜出願時の注意	7
4. 試験場	7
5. 入学者選抜方法	7
6. 2段階選抜	7
7. 令和4年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について	8
8. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点	14
9. 実技検査の内容	16
III 学校推薦型選抜	
1. 選抜関係日程	18
2. 学校推薦型選抜出願時の注意	18
3. 推薦の要件, 募集人員	
[学校推薦型選抜Ⅰ] 【教育文化学部】	18
[学校推薦型選抜Ⅱ]	18
4. 選抜方法	
[学校推薦型選抜Ⅰ] 【教育文化学部】	21
[学校推薦型選抜Ⅱ]	21
5. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点【学校推薦型選抜Ⅱ】	24
6. 実技検査の内容	25
IV-1 総合型選抜Ⅰ【国際資源学部】	26
IV-2 総合型選抜Ⅰ【教育文化学部】	27
IV-3 総合型選抜Ⅰ（出願資格A）【理工学部】	28
IV-4 総合型選抜Ⅰ（出願資格B）【理工学部】	29
IV-5 総合型選抜Ⅱ【医学部保健学科】	31
IV-6 総合型選抜Ⅱ【理工学部】	34
V-1 国際バカロレア入試【国際資源学部】	36
V-2 国際バカロレア入試【教育文化学部】	37
V-3 国際バカロレア入試【理工学部】	38
VI 私費外国人留学生入試	39
VII 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試【理工学部】	41
VIII 秋田大学の理念と基本的な目標	
全学および各学部等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	42
国際資源学部	43
教育文化学部	47
医学部	55
理工学部	60
国際バカロレア入試	72
私費外国人留学生入試	78
IX その他	
1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	84
2. 令和4年度秋田大学「個別の入学資格審査」について	85
3. 検定料免除について	86
4. 一般選抜における入試過去問題の使用について	86
5. 学生募集要項の公表・請求方法	87
6. 大学の案内図	89

インターネット出願について

学校推薦型選抜（Ⅰ，Ⅱ）および一般選抜（前期日程，後期日程）はインターネット出願となります。冊子での学生募集要項は配付しませんので，公表後（学校推薦型選抜学生募集要項は9月下旬，一般選抜学生募集要項は11月下旬公表予定），本学ホームページからダウンロードしていただくこととなります。

インターネット出願に関する詳細は，各学生募集要項で確認してください。

なお，総合型選抜の学生募集要項は冊子での配付となります。87 ページの請求方法を参照してください。

秋田大学ホームページ → 入試情報 → 入試の要項

<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>

出願書類の評価方法について

○面接を実施する選抜

出願書類（調査書、推薦書、志願理由書等）を参考資料とします。

○面接を実施しない選抜

（一般選抜前期日程における国際資源学部，教育文化学部（英語教育コースを除く），理工学部）
調査書の評価し，点数化します。

（高等学校の教員の方へ）

・調査書の記載について

- ① 調査書様式裏面「7. 指導上参考となる諸事項」については，簡潔に記載してください。事項や記載量の多寡は評価しません。
- ② 「8. 備考」欄については，記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。
- ③ 様式裏面の記載はA4判2枚以内とします。

新型コロナウイルス感染症の影響に係る調査書への記載については，「令和4年度大学入学者選抜実施要項」（令和3年6月4日付け文部科学省高等教育局長通知）13ページ「2 調査書（1）」によってください。

・調査書の提出について

2枚になる場合は，2枚目上部に志願者氏名を記載し，クリップ，ホチキス等で綴じないようお願いします。

なお，令和元年度以前の卒業生については，従前の様式による提出でも構いません。

令和4年度入学者選抜日程の概要

一般選抜

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
前期日程	1月24日(月) ～ 2月 4日(金)	2月25日(金) (全) 2月26日(土) (教※,医医)	3月 7日(月)	3月14日(月) 3月15日(火)
後期日程		3月12日(土)	3月21日(月)	3月25日(金) 3月26日(土)
医学部医学科2段階 選抜に係る第1段階 選抜結果発表	—	—	2月10日(木)	—
追 試 験 (前期・後期)(全)	前期日程試験当日まで 後期日程試験当日まで	3月22日(火)	3月26日(土)	3月30日(水)まで

※教育文化学部学校教育課程教育実践コースの実技検査受験者のみ

学校推薦型選抜

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
学校推薦型選抜Ⅰ (教)	11月 1日(月) ～ 11月 4日(木)	11月20日(土)	12月 6日(月)	12月16日(木) 12月17日(金)
学校推薦型選抜Ⅱ (国, 教, 医医)	12月15日(水) ～ 12月21日(火)	1月20日(木) (医医) 1月21日(金) (国,教,医医)	2月10日(木)	2月17日(木) 2月18日(金)

総合型選抜

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
総合型選抜Ⅰ(国)	9月 1日(水) ～ 9月 7日(火)	10月 2日(土)	11月 1日(月)	11月11日(木) ～ 11月17日(水)
総合型選抜Ⅰ(理) (出願資格A)				
総合型選抜Ⅰ(理) (出願資格B)				
総合型選抜Ⅰ(教)	11月 1日(月) ～ 11月 4日(木)	11月20日(土)	12月 6日(月)	12月16日(木) 12月17日(金)
総合型選抜Ⅱ(医保)	10月14日(木) ～ 10月20日(水)	12月 4日(土) 12月 5日(日)	2月10日(木)	2月17日(木) 2月18日(金)
総合型選抜Ⅱ(理)	12月15日(水) ～ 12月21日(火)	1月21日(金)		

国際バカロレア入試

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
国際バカロレア入試 (国, 教, 理)	9月 1日(水) ～ 9月 7日(火)	10月 2日(土)	11月 1日(月)	11月11日(木) ～ 11月17日(水)

私費外国人留学生入試

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
私費外国人 (国, 教, 理)	12月22日(水) ～ 12月24日(金)	1月21日(金)	2月10日(木)	2月17日(木) 2月18日(金)
私費外国人 (医)	1月24日(月) ～ 2月 2日(水)	2月25日(金) (医) 2月26日(土) (医医)	3月 7日(月)	3月14日(月) 3月15日(火)

渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試

区 分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
渡 日 前 (理)	7月29日(木) ～ 8月 4日(水)	—	11月 1日(月)	11月29日(月) ～ 12月 3日(金)

全:全学部, 国:国際資源学部, 教:教育文化学部, 医:医学部, 医医:医学部医学科,
医保:医学部保健学科, 理:理工学部

医学部医学科の募集人員について（申請予定）

医学部医学科では、「地域の医師確保のための定員増」、「新成長戦略」、「新医師確保総合対策」、「緊急医師確保対策」に基づき開始された、暫時的な医学部定員増が令和3年度に終了することに伴い、令和4年度入試における募集人員は、『一般選抜 前期日程 55人、後期日程（一般枠）20人、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）20人』となります。

現在、令和3年度入試の募集人員を継続して、『一般選抜 前期日程 55人、後期日程（一般枠）20人、後期日程（秋田県地域枠）4人、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）20人、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）25人（秋田県地域枠20人程度、全国地域枠5人程度）』となるよう申請予定ではありますが、今後変更となる場合もあります。

なお、詳細については決定次第ホームページでお知らせしますので、医学部医学科を志願される方は必ず確認してください。

令和3年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人 留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	124	55	24 ^{※1}	45 ^{※2}	若干名

※1 24人のうち、一般枠20人、秋田県地域枠4人

※2 45人のうち、一般枠20人、地域枠25人（秋田県地域枠20人程度、全国地域枠5人程度）



令和4年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人 留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	95	55	20 ^{※3}	20 ^{※4}	若干名

※3 20人は一般枠20人

※4 20人は一般枠20人



令和4年度入試	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人 留学生入試
		前期日程	後期日程	Ⅱ	
医学科	124	55	24 ^{※5}	45 ^{※6}	若干名

※5 24人のうち、一般枠20人、秋田県地域枠4人

※6 45人のうち、一般枠20人、地域枠25人（秋田県地域枠20人程度、全国地域枠5人程度）

なお、※5および※6の地域枠の募集人員は変更されることがありますが、決定次第ホームページでお知らせしますので確認してください。

I 募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入 学 定 員	募 集 人 員								国際バ カロレ ア入試	
				一 般 選 抜 前 期 日 程後 期 日 程		総 合 型 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜		私 費 外国 人留 学生 入 試	渡日前入学 許可制度に よる私費外 国人留学生 入 試		
						I		II	I				II
						出願 資格A	出願 資格B						
国際資源学部	国際資源学科	資 源 政 策 コ ー ス	120	20	7	5		－	－	3	5	－	若干名
		資源地球科学コース		20	5	5		－	－	5			
		資源開発環境コース		25	7	8		－	－	5			
	計		120	65	19	18		－	－	13	5		
教育文化学部	学校教育課程	教 育 実 践 コ ー ス	110	24	8	－		－	4	9	若干名	－	若干名
		英 語 教 育 コ ー ス		6	2	－		－	－	2			
		理 数 教 育 コ ー ス		12	4	－		－	－	4			
		特別支援教育コース		12	3	－		－	－	－			
		こども発達コース		10	4	－		－	－	6			
		小 計	110	64	21	－		－	4	21			
	地域文化学科		100	60	10	8		－	－	22			
	計		210	124	31	8		－	4	43			
医学部	医 学 科		124	注1 55	注2 24	－		－	－	注3 45	注1 若干名	－	－
	保健学科	看 護 学 専 攻	106	45	－	－		25	－	－	若干名		
		理 学 療 法 学 専 攻		10	－	－		8	－	－			
		作 業 療 法 学 専 攻		9	－	－		9	－	－			
		小 計	106	64	－	－		42	－	－			
	計		230	119	24	－		42	－	45			
理工学部	生命科学科	生 命 科 学 コ ー ス	45	注4 a 15 b 8	6	8	2	4	－	－	2	若干名	若干名
	材料理工学コース	b 31	8	2	4	－	－	2					
	数理・電気電子情報学科	数 理 科 学 コ ー ス	120	a 34 b 24	18	4	－	2	－	－	3		
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス				7	7	7	－	－	2		
		人間情報工学コース				5	2	3	－	－	2		
	システムデザイン工学科	機 械 工 学 コ ー ス	120	a 35 b 26	17	11	5	6	－	－	5		
		土木環境工学コース				5	2	7	－	－	1		
		計		395	注5 205	注5 55	56	22	36	－	－		
	合 計			955	513	129	104		78	4	101		

注1：医学部医学科の一般選抜前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。

注2：24人のうち一般枠20人、秋田県地域枠4人となるよう申請予定であります、今後変更となる場合があります。（4ページ参照）

注3：45人のうち一般枠20人、地域枠25人（秋田県地域枠20人程度、全国地域枠5人程度）となるよう申請予定であります、今後変更となる場合があります。（4ページ参照）

注4：aとbでは大学入学共通テストと個別学力検査の配点が異なります。配点については14ページを参照してください。

注5：理工学部一般選抜（前期日程・後期日程）で合格した入学者は、入学した学科内の一つのコースへの配属を2年次進級の際に決定します。（生命科学科を除く。）

Ⅱ 一般選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)で18歳に達したもの
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

* ③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、85～86ページを参照の上、申請してください。

なお、医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は、上記①から③のいずれかの出願資格に加えて、「秋田県内の高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者」および「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って、定められた期間、義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。また、出願にあたっては、20ページ「*【医学部医学科：秋田県地域枠および全国地域枠に関する事項】」を必ず確認してください。

※ 医学科の後期日程の志願者は、4ページの「医学部医学科の募集人員について(申請予定)」を確認してください。また、詳細は決定次第、本学ホームページでお知らせしますので必ず確認してください。

2. 選抜関係日程

	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日	入 学 手 続 期 間
前 期 日 程	令和4年1月24日(月)	令和4年2月25日(金) 教育文化学部 ^{※1} および 医学部医学科は 2月25日(金)・26日(土)	令和4年3月7日(月)	令和4年 3月14日(月)～ 3月15日(火) (必着)
後 期 日 程	令和4年2月4日(金) (必着)	令和4年3月12日(土)	令和4年3月21日(月)	令和4年 3月25日(金)～ 3月26日(土) (必着)
追 試 ^{※2} 験	前期日程試験当日まで 後期日程試験当日まで	令和4年3月22日(火)	令和4年3月26日(土)	令和4年 3月30日(水)まで

※1 教育文化学部の26日(土)は実技検査受験者のみ

※2 新型コロナウイルス感染症に罹患または罹患したおそれがあることにより、前期日程または後期日程試験を受験できなかった志願者を対象とします。

3. 一般選抜出願時の注意

「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。したがって、「前期-前期」または「後期-後期」の併願はできません。

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学部・学科・課程・コース等の場合、異なる学部・学科・課程・コース等の場合とも可能です。

4. 試験場

国 際 資 源 学 部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 東京試験場（前期日程のみ） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 名古屋試験場（前期日程のみ） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
教 育 文 化 学 部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 東京試験場（前期日程のみ） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 〔個別学力検査等で実技検査を選択した者および英語教育コースの志願者は秋田試験場のみとなります。〕
医 学 部	秋田大学本道キャンパス：秋田市本道一丁目1の1
理 工 学 部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 東京試験場（前期日程のみ） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 名古屋試験場（前期日程のみ） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6

注）追試験の試験場は、秋田試験場のみとなります。

5. 入学者選抜方法

- （1）大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の点数を総合して判定します。（調査書の点数化は前期日程のみで、医学部を除く3学部で行います。）
- （2）志望する学科、課程、専攻、コースの課す大学入学共通テストの教科・科目および個別学力検査等を、すべて受けなければ合格者としません。
- （3）本学では、前年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。必ず、令和4年度大学入学共通テストを受験してください。
- （4）追試験における大学入学共通テストおよび個別学力検査等の教科・科目、配点は本試験と同じです。大学入学共通テスト、追試験の成績および調査書の点数を総合して判定します。

6. 2段階選抜

医学部医学科において、入学志願者が前期日程の募集人員（55名）の5倍、後期日程の一般枠、秋田県地域枠それぞれの募集人員（一般枠20名、秋田県地域枠4名）※1の10倍を超えた場合、大学入学共通テストの成績（5教科7科目の素点計。ただし、英語はリーディングとリスニングの配点比率を4：1として200点満点に換算）により第1段階選抜を行うことがあります。実施の有無、可否については、令和4年2月10日（木）にお知らせします。

※1 募集人員については必ず4ページを確認してください。

7. 令和4年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について

(1) 国際資源学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目				受験を要する教科・科目名																																
				国語	地理歴史				公民		数学					理科					外国語				韓国語											
学部・学科・コース			日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎		地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語		
					①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	前期後期	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		資源地球科学コース	前期後期	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	資源開発環境コース	前期後期	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔国際資源学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等 学部・学科・コース			前 期 日 程								後 期 日 程					
			教 科 等							備 考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考	
			国語	数学	英語	理 科										その他
						物理	化学	生物	地学							
※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7										
国 際 資 源 学 部	国 際 資 源 学 科	資源政策 コース	◎	×	◎	×	×	×	×		◎	×	×	◎		
			1		1							1				1
		資源地球科学 コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は、物理、化学、生物、 地学から1科目選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学A、数学B	◎	×	×	◎	
				1	1	1						1			1	
		資源開発環境 コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は、物理、化学、生物、 地学から1科目選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学A、数学B	◎	×	×	◎	
				1	1	1						1			1	

◎は必ず受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，○は選択して受験を要する科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 国語総合（近代以降の文章。ただし、古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）

※2 数学の数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし，数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 コミュニケーション英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，英語表現Ⅰ，Ⅱ

※4 物理基礎，物理

※5 化学基礎，化学

※6 生物基礎，生物

※7 地学基礎，地学

《英語資格等の活用》

次の（1）から（5）のいずれかの要件を満たしている者は，個別学力検査の「英語」科目を免除し，満点と換算して合否判定します。

（1）	TOEFL iBT	61点以上
（2）	TOEFL ITP	500点以上
（3）	TOEIC L&R	730点以上
（4）	IELTS	6.0以上
（5）	英検	準1級以上

・令和2年（2020年）1月以降に受験したものを対象とします。

・当該スコア等を証明する書類は出願書類と同時に提出する必要があります。

・成績証明書の交付には相当期間を要するため，出願期間に留意の上，早めに準備してください。

(2) 教育文化学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目				受験を要する教科・科目名																																		
				国語		地理歴史				公民			数学					理科							外国語													
学部・課程・学科等				パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語				
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				1	2										1						2			1			1											
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				1	2										1						2			1			1											
				③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				1	1										1	1					2			1			1											
			後期	④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	1										1	1					2			1			1											
				⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
			英語教育コース	前期	⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					1	2										1	1								1			1										
					①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					1	2										1	1					2			1			1										
					②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					1	1										1						2			1			1										
		後期		③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
				1	2										1	1					2			1			1											
				④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		理数教育コース		前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					1	1										1	1					2			1			1										
					②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				後期	1	1										1						2			1			1										
					③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					1	1										1	1					2			1			1										
			④		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			1		2										1	1					2			1			1											
			こども発達コース		前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1		2										1	1					2			1			1												
		②		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		1		2										1	1					2			1			1												
		③		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1	1										1	1					2			1			1														
	後期	④		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		1		1										1	1					2			1			1												
		⑤		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	地域文化学科	前期		⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				1	2										1	1					2			1			1											
				①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				1	2										1	1					2			1			1											
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				1	1										1						2			1			1											
		後期	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			1	1										1	1					2			1			1												
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

〔教育文化学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称の A・B 出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2 科目と「基礎を付さない科目」1 科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100 点満点）の成績を 200 点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで 1 科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において 2 科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第 1 解答科目、後半に受験した科目を第 2 解答科目とし、第 1 解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで 1 科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において 2 科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第 1 解答科目、後半に受験した科目を第 2 解答科目とし、第 1 解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等			前 期 日 程								後 期 日 程						
			教 科 等								備 考	教科(英語※3)	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考
			国語	数学	英語	理 科				その他							
						物理	化学	生物	地学								
学部・課程・学科等			※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7								
教 育 文 化 学 部	学 校 教 育 課	教育実践コース	○	○	○	×	×	×	×	○	国語，数学，英語，その他から2教科等選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B その他は実技検査（音楽，美術，体育）から一つ選択	×	○	×	○	◎	実技検査（音楽，美術，体育）から一つ選択）または小論文
		2									1			1			
	校 教 育 課	英語教育コース	◎	×	◎	×	×	×	×	◎	英語は，リスニングおよびスピーキングを含む その他は，面接	◎	◎	×	×	◎	英語はスピーキングのみとし，小論文は英文とする
		1		1					1	1	1		1				
	学 校 教 育 課	理数教育コース	×	○	○	○	○	○	○	×	数学，英語，理科から2教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B 理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択	×	×	×	×	◎	板書等による記述を課す試験を含む。
		2												1			
	学 校 教 育 課	特別支援教育コース	○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から2教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B	×	◎	×	×	◎	
		2									1			1			
	学 校 教 育 課	こども発達コース	○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から2教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B	×	×	◎	×	◎	
		2									1				1		
部	地域文化学科		○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から2教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B	×	◎	×	×	◎	
			2									1			1		

◎は必ず受験を要する科目等、×は受験を要しない科目等、○は選択して受験を要する科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 国語総合（近代以降の文章。ただし、古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）

※2 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A の出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学 B は「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ

※4 物理基礎、物理

※5 化学基礎、化学

※6 生物基礎、生物

※7 地学基礎、地学

(3) 医学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目			受験を要する教科・科目名																															
			国語	地理歴史				公民		数学					理科					外国語														
学部・学科等		日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
				○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
医学部	医学科		前期 後期	1	1										1		1		2					1										
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	保健学科	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	前期	1	1										1		1		2					1										
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
				1	1										1		1		2					1										
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
				1	1										1		1		2					1										
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
				1	2										1		1		2					1										
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
1	2										1		1		1					1														

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔医学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等			前 期 日 程								後 期 日 程					
			教 科 等								備 考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考
			国語	数学	英語	理 科				その他						
学部・学科等				※ 1	※ 2	物理	化学	生物	地学							
医 学 部	医学科		×	◎	◎	×	×	×	×	◎	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B その他は、面接	◎	×	×	◎	
				1	1					1		1		1		
	保健学科	看護学専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接					
					1					1						
		理学療法学専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接					
					1					1						
		作業療法学専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接					
					1					1						

- ◎は必ず受験を要する科目等、×は受験を要しない科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。
- ※1 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※2 コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ

(4) 理工学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目			受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名																															
			国語		地理歴史				公民				数学					理科						外国語										
学部・学科・コース		日程	パター ン	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学 A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
理 工 学 部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	前期 後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
				1	1									1	1				2					1				1						
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
				1	1									1	1				2					1				1						

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。
ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【理工学部における注意事項】

ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科(理数科を除く。)または総合学科の卒業(見込み)者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。
イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
ウ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算して利用します。
エ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
オ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等			前 期 日 程										後 期 日 程					
			教 科 等							備 考	教科(数学※1)	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考		
			国語	数学	英語	理 科											その他	
学部・学科・コース			※1			※2	※3	※4										
理	生命科学 学科	生命科学 コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 理科は、物理、化学、生物から1科目選択	◎	×	×	×	◎		
				1		1						1	1					
工	物質科学 学科	応用化学 コース 材料理工学 コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 理科は、物理、化学から1科目選択	◎	×	×	×	◎		
				1		1						1	1					
学	数理・電気電子 情報学科	数理科学 コース 電気電子工学 コース 人間情報工学 コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 理科は、物理、化学、生物から1科目選択	◎	×	×	×	◎		
				1		1						1	1					
部	システム 工学科	機械工学 コース 土木環境工学 コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 理科は、物理、化学から1科目選択	◎	×	×	×	◎		
				1		1						1	1					

◎は必ず受験を要する科目等、×は受験を要しない科目等、○は選択して受験を要する科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。
※1 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、
数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
※2 物理基礎、物理
※3 化学基礎、化学
※4 生物基礎、生物

8. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等				試験の 区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	実技 検査	小論文	面 接	調査書	合 計
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学 共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)						900	1420
			個別学力 検査等	250				250				20	520		
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学 共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)						850	1320
			個別学力 検査等			200	150	100				20	470		
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	大学入学 共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	1010
			個別学力 検査等	#200		#200		#200	#200			10	410		
		英語教育コース	大学入学 共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	1010
			個別学力 検査等	100				注6 300			10		410		
		理数教育コース	大学入学 共通テスト	200×2/3	100×2/3	200×2/3	200×2/3	200×2/3						600	1010
			個別学力 検査等			#200	#200	#200				10	410		
		特別支援教育コース こども発達コース	大学入学 共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	1010
			個別学力 検査等	#200		#200		#200				10	410		
		地域文化学科	大学入学 共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	1010
			個別学力 検査等	#200		#200		#200				10	410		
医学部	保健学科	医 学 科	大学入学 共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)						550	950
			個別学力 検査等			100		100			200		400		
		看護学専攻	大学入学 共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)						720	920
			個別学力 検査等					100			100		200		
		理学療法学専攻	大学入学 共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)						630	1030
			個別学力 検査等					200			200		400		
		作業療法学専攻	大学入学 共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)						630	1030
			個別学力 検査等					200			200		400		
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	a	大学入学 共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)						750	1170
			個別学力 検査等			250	150					20	420		
		b	大学入学 共通テスト	25 (200×0.125 ×1)	25 (100×0.25×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)						350	1170
			個別学力 検査等			500	300					20	820		

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は、大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）

注2：大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を、国際資源学部と理工学部は1：1とし、教育文化学部と医学部は4：1とします。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。

注4：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。

注5：教育文化学部の個別学力検査欄の#印は、2教科を選択するものです。

注6：教育文化学部学校教育課程英語教育コースの外国語（英語）の配点内訳は、筆記200点、スピーキング50点、リスニング50点とします。

注7：理工学部a・bにおける個別学力検査の試験問題は、同一のものです。

【後期日程】

学部・学科・課程等			試験の 区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	実技 検査	小論文	面 接	合 計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	1400
											200	300	500	
		資源地球科学コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)				1050	1350
		資源開発環境コース									200	100	300	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	200×7/9				700	1050
										#300	#300	50	350	
		英語教育コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)		50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)				600	1050
									200		200	50	450	
		理数教育コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×8/13	100×8/13		(200×2)×8/13	(200×2)×8/13	200×8/13				800	1050
												250	250	
		特別支援教育コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9				500	1050
											250	300	550	
		こども発達コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9				500	1050
											250 [記述]	300	550	
		地域文化学科	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1050
											300	150	450	
医学部	医学科	一般枠	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)		150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)				700	1000
											100	200	300	
		秋田県地域枠	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)				450	700
											100	150	250	
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース		大学入学 共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				750	1050
			個別学力 検査等				100					200	300	

- 注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
- 注2：大学入学共通テストの理科の素点は，「基礎を付した科目」2科目選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
- 注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は，「リーディング」と「リスニング」の配点比率を，国際資源学部と理工学部は1：1とし，教育文化学部と医学部は4：1とします。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- 注4：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
- 注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査欄の#印は，1科目等を選択するものです。
- 注6：教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は，記述問題の配点を示します。

9. 実技検査の内容

[前期日程]

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

次の①，②を受験してください。

①共通課題

ピアノ……ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

②選択課題……次の1），2），3）のうちから1つを選択して受験してください。

1） ピアノ……任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

2） 声 楽……（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）

- a. 滝廉太郎作曲 荒城の月 二短調 **Gange**
- b. A. スカルラッティ作曲 Già il sole dal **G**rango 変イ長調
- c. A. スカルラッティ作曲 Son tutta duolo ト短調
- d. C.W. グルック作曲 O del mio dolce ardor ホ短調

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，試験当日に声楽の生演奏による実技検査は行いません。
事前に各自でピアノ伴奏付き演奏動画をMP4形式で作成し，そのデータをUSBメモリに保存して，
試験当日に必ず持参してください。
なお，動画を作成する際は，演奏者が志願者本人とわかるよう留意してください。

3） 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏

※ 無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。

なお楽譜には楽器名を記載し，前期日程と明記してください。

使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール，4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器……マリンバ

和楽器……三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：静物描写（3時間）

※ 出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】

次の運動種目①から⑩のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②器械運動（跳び箱運動およびマット運動）
③バレーボール ④バスケットボール ⑤サッカー ⑥ハンドボール ⑦卓球
⑧柔道 ⑨ダンス ⑩基礎運動能力（シャトルラン，反復横とび，および握力）

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

[後期日程]

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

次の①，②を受験してください。

①共通課題

ピアノ……ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

②選択課題……次の1），2），3）のうちから1つを選択して受験してください。

1） ピアノ……任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

2） 声 楽……（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）

- a. 滝廉太郎作曲 荒城の月 二短調 Gange
- b. A. スカルラッティ作曲 Già il sole dal Grange 変イ長調
- c. A. スカルラッティ作曲 Son tutta duolo ト短調
- d. C.W. グルック作曲 O del mio dolce ardor ホ短調

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、試験当日に声楽の生演奏による実技検査は行いません。
事前に各自でピアノ伴奏付き演奏動画をMP4形式で作成し、そのデータをUSBメモリに保存して、
試験当日に必ず持参してください。
なお、動画を作成する際は、演奏者が志願者本人とわかるよう留意してください。

3） 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏

※ 無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。

なお楽譜には楽器名を記載し，後期日程と明記してください。

使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール，4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
 トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器……マリンバ

和楽器……三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：静物描写（3時間）

※ 出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】

次の運動種目①から⑧のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②バレーボール ③バスケットボール

④サッカー ⑤ハンドボール ⑥卓球 ⑦柔道 ⑧ダンス

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

Ⅲ 学校推薦型選抜

1. 選抜関係日程

〔学校推薦型選抜Ⅰ〕（大学入学共通テストを課さない）

出願期間：令和3年11月1日（月）～令和3年11月4日（木）（必着）
試験日：令和3年11月20日（土）
合格発表日：令和3年12月6日（月）
入学手続期間：令和3年12月16日（木）～令和3年12月17日（金）（必着）

〔学校推薦型選抜Ⅱ〕（大学入学共通テストを課す）

出願期間：令和3年12月15日（水）～令和3年12月21日（火）（必着）
試験日：令和4年1月20日（木）【医学部医学科】
令和4年1月21日（金）【国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科（地域枠のみ）】
合格発表日：令和4年2月10日（木）
入学手続期間：令和4年2月17日（木）～令和4年2月18日（金）（必着）

2. 学校推薦型選抜出願時の注意

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合含めて）への出願は，一つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻・コース等）に限られています。本学の場合，教育文化学部学校教育課程教育実践コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった場合に，同一の学校教育課程教育実践コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願できます。

なお，学校推薦型選抜で不合格になった場合に備えて，本学または他大学の一般選抜に出願しておくことは差し支えありません。

3. 推薦の要件，募集人員

〔学校推薦型選抜Ⅰ〕【教育文化学部】

学部	学科・課程等	募集人員	推薦の要件
教育文化学部	学校教育実践コース	4人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同様または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 (2) 教員を志望し，学業成績・人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 調査書の保健体育の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

学部	学科・課程等	募集人員	推薦の要件
国際資源学部	国際資源政策コース	3人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年度の途中で卒業を認められる者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者（令和3年度の途中で修了を認められる者を含む。） (2) (1)の学校における学業成績及び人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
	国際資源地球科学コース	5人	
	国際資源開発環境コース	5人	

学部	学科・課程等		募集人員	推 薦 の 要 件
教 育 文 化 学 部	学 校 教 育 課 程	教育実践コース	9 人	次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を令和4年3月修了見込みの者（③の要件は実技検査で受験する者に限る。） (2) 教員を志望し、人物等について出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 小論文で受験する者は調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で、なおかつ、国語、地理歴史、公民、または家庭いずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 音楽の実技検査で受験する者は技能・表現力が優れている者 (5) 美術の実技検査で受験する者は造形表現力が優れている者 (6) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		英語教育コース	2 人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で、なおかつ、①国語、②地理歴史または公民、③外国語の3教科の学習成績の状況の平均が4.0以上 [*] の者のうち、本コースへの入学に固い意志を持ち、特に英語教育の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者 外国語の学習成績の状況について、各高等学校等において外国語教科を第1外国語・第2外国語のように2以上に区分している場合、調査書に記載された第1外国語（英語）の学習成績の状況、または第1外国語・第2外国語を合わせた学習成績の状況のいずれか高い方を対象とする。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者 ※少数点第2位以下を切り捨てとする。
		理数教育コース	4 人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 (2) 教員を強く志望し、人物等について出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で、なおかつ、数学または理科の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		こども発達コース	6 人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 (2) 人物等について、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) (1)の学校における調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

学部	学科	募集人員	推 薦 の 要 件
教育文化学部	地域文化学科	22 人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長(高等学校長)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の学習成績の状況が3.5以上)で、なおかつ、①国語、②地理歴史または公民、③外国語の3教科の学習成績の状況の平均が4.0以上*の者 外国語の学習成績の状況について、各高等学校等において外国語教科を第1外国語・第2外国語のように2以上に区分している場合、調査書に記載された第1外国語(英語)の学習成績の状況、または第1外国語・第2外国語を合わせた学習成績の状況のいずれか高い方を対象とする。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者 ※少数点第2位以下を切り捨てとする。
医学部	医学科	一般枠 20 人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者(令和3年度の途中に卒業を認められた者を含む。) ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者(令和3年度の途中に修了を認められた者を含む。) (2) 調査書の学習成績概評がA段階(全体の学習成績の状況が4.3以上)に属する者のうち、本学科への入学に固い意志を持ち、特に医学の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者で、出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		秋田県地域枠 20人* 程度	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を令和3年3月以降に卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って、定められた期間、義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がA段階(全体の学習成績の状況が4.3以上)の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		全 国 地域枠 5 人* 程度 *下記必読	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 秋田県外の高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を令和3年3月以降に卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月以降に修了した者及び令和4年3月修了見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って、定められた期間、義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がA段階(全体の学習成績の状況が4.3以上)の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

***【医学部医学科：秋田県地域枠および全国地域枠に関する事項】**

地域枠の出願にあたっては、「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し、秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ、出願してください。

秋田県医学生修学資金について

URL : <http://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/>

あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報、みてたんせ」

> 秋田県の医師支援策 > 修学資金・研修資金 > 秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム

問合せ先 : 秋田県健康福祉部医務薬事課医療人材対策室 電話番号 018-860-1410

秋田の医療情報
みてたんせ

QRコード



※ 医学科の学校推薦型選抜Ⅱの志願者は、4ページの「医学部医学科の募集人員について(申請予定)」を確認してください。また、詳細は決定次第、本学ホームページでお知らせしますので必ず確認してください。

4. 選抜方法

[学校推薦型選抜Ⅰ]【教育文化学部】

学科・課程等		選 抜 方 法 等	
学校教育課程	教育実践コース	選 抜 方 法	大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、実技検査調書、小論文、実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
		個別学力検査等	小論文、実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む） 注：小論文は英語の和訳を含みます。口頭試問は、国語、社会、保健体育の基礎学力について行います。

[学校推薦型選抜Ⅱ]

(1) 国際資源学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目				受験を要する教科・科目名																														
				国語		地理歴史				公民				数学						理科						外国語								
学部・学科・コース				国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△		×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	○	○	○
			1	2														1										1						
	資源地球科学コース	①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		1															1	1	2					1					1					
	資源開発環境コース	②	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		1															1	1						2					1					
		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		②	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		1															1	1						2					1					
		1															1	1						2					1					

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【国際資源学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては、同一名称の A・B 出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2 科目と「基礎を付さない科目」1 科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100 点満点）の成績を 200 点満点に換算して利用します。
- オ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。
- カ 資源政策コースの数学で、2 科目受験した場合は、高得点の科目を合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース			個 別 学 力 検 査 等	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面 接	
		資源地球科学コース	面 接	
		資源開発環境コース	面 接	

(2) 教育文化学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，および個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目			受験を要する教科・科目名																															
			国語	地理歴史						公民			数学						理科						外国語									
学部・課程・コース			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
教 育 文 化 学 部	学 校 教 育 課	教育実践コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				1	2						1						2						1				1							
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	2						1												2				1							
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	1						1						2						1				1							
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	1						1												2				1							
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
				1	2						1						2						1				1							
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				1	2						1						1						1				1							
	英語教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
			1	1						1						2						1				1								
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			1	1						1						1						1				1								
	理数教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	1						1						2						1				1								
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			1	1						1						2						2				1								
	こども発達コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	2						1						2						1				1								
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			1	2						1						2						2				1								
		③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	1						1						2						1				1								
		④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			1	1						1						2						2				1								
		⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
			1	2						1						2						1				1								
		⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	2						1						1						1				1								
	地域文化学科	①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			1																															
		②	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
																										1								

◎は必ず受験する科目，×は本学では採用しない科目，○および△は選択して受験を要する科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし，△の科目については，選択できる者に制限があります。

〔教育文化学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては，同一名称の A・B 出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2 科目と「基礎を付さない科目」1 科目を選択する場合には，「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の成績を 200 点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで 1 科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において 2 科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第 1 解答科目，後半に受験した科目を第 2 解答科目とし，第 1 解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで 1 科目を指定しているもののうち，「基礎を付さない」理科の試験時間において 2 科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第 1 解答科目，後半に受験した科目を第 2 解答科目とし，第 1 解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・課程・コース			個 別 学 力 検 査 等
教育文化学部	学 校 教 育 課 程	教育実践コース	小論文および面接，または実技検査（音楽・美術）および面接
		英語教育コース	小論文（英文）および面接（英語スピーキングを含む。）
		理数教育コース	面接（数学または理科の板書等による記述を課す試問を含む。）
		こども発達コース	小論文および面接（口頭試問を含む。）
	地 域 文 化 学 科		小論文および面接

*理数教育コースの面接の試問について

- ・数学または理科から1教科を選択します。
- ・数学は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bとします。数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし，数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
- ・理科の場合は，物理（物理基礎・物理），化学（化学基礎・化学），生物（生物基礎・生物），地学（地学基礎・地学）から1科目を選択します。

（３）医学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目		受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名																														
		国語	地理歴史				公民			数学				理科					外国語													
学部・学科・専攻		パターン	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学 I	数学 I・数学 A	数学 II	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
			◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
医 学 部	医 学 科	1	1										1	1									2				1					

◎は必ず受験する科目，×は本学では採用しない科目，○および△は選択して受験を要する科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし，△の科目については，選択できる者に制限があります。

【医学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては，同一名称のA・B出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には，「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち，「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科等		個 別 学 力 検 査 等
医 学 部	医 学 科	小論文および面接

5. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部・学科・課程等			試験の 区 分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外国語	実技 検査	小論文	面接	合 計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)		200 (200×1.0×1)				700	1000
											300	300	
		資源地球科学コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)				1000	1300
											300	300	
	資源開発環境コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)			300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)				1000	1300
											300	300	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1000
									#200	#200	200	400	
		英語教育コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)				600	1000
										200	200	400	
	こども発達コース	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	200×7/9	100×7/9	200×7/9	200×7/9	200×7/9	200×7/9				700	1000
											300	300	
	地域文化学科	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	100 (200×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	100 (200×0.5×1)					450	750
										200	100	300	
		大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	#100 (200×0.5×1)					#100 (200×0.5×1)				100	500
										200	200	400	
医学部	医 学 科	大学入学 共通テスト 個別学力 検査等	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)					450	700
										100	150	250	

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は、大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）

注2：大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を国際資源学部は1：1,教育文化学部と医学部は4：1とします。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、200点に換算して利用します。

注4：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。

注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査等欄の#印は、1つを選択するものです。

注6：教育文化学部地域文化学科の大学入学共通テスト欄の#印はどちらかの1教科を指定するものですが、2教科とも受験した場合は、高得点の教科を合格判定に用います。

6. 実技検査の内容

〔学校推薦型選抜Ⅰ〕【教育文化学部】

学校教育課程 教育実践コース

【体育】

次の運動種目①から⑥のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②バレーボール ③サッカー
④卓球 ⑤柔道 ⑥ダンス

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

〔学校推薦型選抜Ⅱ〕【教育文化学部】

学校教育課程 教育実践コース

【音楽】

実技の内容：1～3のジャンルから2つを選択し，演奏する。

1. ピアノ（任意の楽曲を選び，暗譜で演奏）
2. 声 楽（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）
 - a. 滝廉太郎作曲 荒城の月 二短調 **Gange**
 - b. A. スカルラッティ作曲 Già il sole dal **Gr**ange 変イ長調
 - c. A. スカルラッティ作曲 Son tutta duolo ト短調
 - d. C.W. グルック作曲 O del mio dolce ardor ホ短調

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，試験当日に声楽の生演奏による実技検査は行いません。
事前に各自でピアノ伴奏付き演奏動画をMP4形式で作成し，そのデータをUSBメモリに保存して，
試験当日に必ず持参してください。
なお，動画を作成する際は，演奏者が志願者本人とわかるよう留意してください。

3. 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器

（1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏）

※ 無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。

なお楽譜には楽器名を記載し，学校推薦型選抜Ⅱと明記してください。

使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール、4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器……マリンバ

和楽器……三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：基礎的な立体および平面の造形（3時間）

※ 実技検査に必要なものは本学で用意します。

IV—1 総合型選抜Ⅰ【国際資源学部】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年9月1日（水）～令和3年9月7日（火）（必着）
 試験日：令和3年10月2日（土）
 合格発表日：令和3年11月1日（月）
 入学手続期間：令和3年11月11日（木）～令和3年11月17日（水）（必着）

2. 募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
国際資源学科	資源政策コース	5人
	資源地球科学コース	5人
	資源開発環境コース	8人
計		18人

3. 出願資格

学 科	コ ー ス	出 願 資 格
国際資源学科	資源政策コース	次のいずれかに該当する者で、合格した場合入学を確約できる者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
	資源地球科学コース	
	資源開発環境コース	

4. 選抜方法

小論文と面接の結果を総合的に評価します。なお、大学入学共通テストは課しません。

学 科	コ ー ス	実 施 教 科 等	
		教科等	採点・評価の観点，基準等
国際資源学科	資源政策コース	小論文	日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をします。「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
		面接	いくつかの質問を英語で行います。いくつかの質問には英語で答えてもらいます。「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源地球科学コース	小論文	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
		面接	いくつかの質問を英語で行います。いくつかの質問には英語で答えてもらいます。「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源開発環境コース	小論文	「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
		面接	いくつかの質問には英語で答えてもらいます。「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

IV－2 総合型選抜Ⅰ【教育文化学部】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年11月1日（月）～令和3年11月4日（木）（必着）
 試験日：令和3年11月20日（土）
 合格発表日：令和3年12月6日（月）
 入学手続期間：令和3年12月16日（木）～令和3年12月17日（金）（必着）

2. 募集人員

学 科	募 集 人 員
地域文化学科	8人

3. 出願要件

学 科	出 願 要 件
地域文化学科	次の(1)および(2)に該当する者で、合格した場合入学を確約できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域連携活動あるいは国際交流活動に関して、継続的な活動実績を有し、活動実績を客観的に確認できる根拠資料を提出できる者[※] ※ 総合型選抜Ⅰ（地域連携・国際交流）は、地域の方々と連携した活動または国際交流活動を主体的・継続的に行っている人を受け入れる募集枠です。学校・地方自治体・民間財団などでの活動をきっかけとしたものでも構いませんが、学校での授業および部活動のみの活動は、この枠に該当しません。地域連携活動とは地域社会の人々との協働という要素を含む活動を意味します。想定される具体例のいくつかを挙げます。 ○地域の人々と協働して祭の企画・運営・実行などの活動に継続的に参加している。 ○地域ボランティアとして施設訪問などを継続的に行っている。 ○地域のスポーツ団体等で活動やその補助を継続的に行っている。 以上のような活動を1年以上行っていることを必要とします。 国際交流活動としては以下のようなものが想定されます。 ○海外研修などを体験し、帰国後も継続的に交流活動を続けている。 ○留学生の受け入れなどを経験し、その後も継続的に交流を続けている。 ○団体等において継続的に外国人との交流活動を行っている。 主体的・継続的な国際交流活動であれば、活動期間は問いません。

4. 選抜方法

出願書類、小論文、プレゼンテーションおよび面接の結果を総合して判定します。なお、大学入学共通テストは課しません。

学 科	実 施 教 科 等	
	教科等	採点・評価の観点，基準等
地域文化学科	小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り、高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し、自分の見解を論理的かつ説得力を持って文章化する能力をみます。
	プレゼンテーション ※	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで、地域の方々と連携した活動または国際交流活動を主体的・継続的に行っているかをみます。また、その活動内容を明確かつ分かりやすく表現できる能力をみます。
	面 接	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで、志望理由および入学後の学修の目標等を明確かつ簡潔に表現できる能力をみます。さらに、地域連携・国際交流活動内容記載書に記載された活動とその意義について明確かつ分かりやすく説明できる能力および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。

※プレゼンテーションでは、資料の使用も可としますがパソコン等の機材は大学側では準備しません。

IV－3 総合型選抜Ⅰ（出願資格A）【理工学部】

1. 選抜関係日程

出 願 期 間 : 令和3年 9月 1日 (水) ～ 令和3年 9月 7日 (火) (必着)
 試 験 日 : 令和3年10月 2日 (土)
 合 格 発 表 日 : 令和3年11月 1日 (月)
 入学手続期間 : 令和3年11月11日 (木) ～ 令和3年11月17日 (水) (必着)

2. 出願資格、募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	出 願 資 格
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	8 人	次のいずれかに該当する者で、合格した場合入学を確約できる者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	8 人	
	材 料 理 工 学 コ ー ス	8 人	
数 理 ・ 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	4 人	
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	7 人	
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	5 人	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	11 人	
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	5 人	
計		56 人	

3. 選抜方法

講義と面接を実施し、講義を受講した後に提出するレポートおよび面接を総合的に評価して選抜します。
 なお、大学入学共通テストは課しません。

学 科	コ ー ス	実 施 教 科 等
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接〔理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む。〕
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む。）
	材 料 理 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む。）
数 理 ・ 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（数学*の基礎学力に関する試問を含む。）
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（数学*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。）
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（数学*分野に関する知識についての質問を含む。）
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（数学*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。）
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接（数学*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。）

*数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bとします。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。
 ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

Ⅳ－４ 総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）【理工学部】

１．選抜関係日程

出願期間：令和３年 ９月 １日（水）～令和３年 ９月 ７日（火）（必着）
 試験日：令和３年 １０月 ２日（土）
 合格発表日：令和３年 １１月 １日（月）
 入学手続期間：令和３年 １１月 １１日（木）～令和３年 １１月 １７日（水）（必着）

２．出願資格、募集人員

次の①および②に該当する者で、合格した場合入学を確約できる者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和４年３月卒業見込みの者
- ② 令和４年３月３１日までに次の志望するコースの出願要件を満たす者

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	出 願 要 件
生 命 科 学 科	生 命 科 学 コ ー ス	２ 人	農業，工業，水産，家庭，看護および福祉に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	２ 人	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	材 料 理 工 学 コ ー ス	２ 人	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	７ 人	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	２ 人	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	５ 人	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	２ 人	工業および農業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
計		２２人	

3. 選抜方法

講義と面接を実施し、講義を受講した後に提出するレポートおよび面接を総合的に評価して選抜します。
なお、大学入学共通テストは課しません。

学 科	コ ー ス	実 施 教 科 等
生 命 科 学 科	生 命 科 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 [理科 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎のいずれかを選択) の基礎学力に関する試問を含む。]
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (物理基礎, 化学基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
	材 料 理 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (物理基礎, 化学基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
数 理 ・ 電 気 電 子 工 学 科 情 報 学 科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*分野に関する知識についての質問を含む。)
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。)

*数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bとします。数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。
ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

IV—5 総合型選抜Ⅱ【医学部保健学科】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年10月14日（木）～令和3年10月20日（水）（必着）
 試験日：令和3年12月4日（土）～令和3年12月5日（日）
 合格発表日：令和4年2月10日（木）
 入学手続期間：令和4年2月17日（木）～令和4年2月18日（金）（必着）

2. 募集人員

学部・学科・専攻			募集人員
医学部	保健学科	看護学専攻	25人
		理学療法学専攻	8人
		作業療法学専攻	9人
		計	42人

3. 出願資格

学部・学科・専攻			出願要件
医学部	保健学科	看護学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学医学部保健学科での勉学を強く志望し、合格した場合には入学を確約できる者
		理学療法学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年度の途中で卒業を認められる者を含む。） ② 通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者（令和3年度の途中で修了を認められる者を含む。） (2) 本学医学部保健学科での勉学を強く志望し、合格した場合には入学を確約できる者
		作業療法学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学医学部保健学科での勉学を強く志望し、合格した場合には入学を確約できる者

4. 選抜方法

小論文と面接を実施し、出願書類（自己推薦書、調査書）、小論文、面接の結果を総合的に評価します。

なお、合格者になるためには、大学入学共通テストにおいて本学医学部保健学科が指定する科目の合計得点が、各専攻が定める以下の基準を満たす必要があります。

学部・学科・専攻			大学入学共通テストにおける配点合計	総合型選抜Ⅱの合格者となるための大学入学共通テストにおける基準点
医学部	保健学科	看護学専攻	800	合計得点が概ね440点以上
		理学療法学専攻	900	合計得点が概ね530点以上
		作業療法学専攻	900	合計得点が概ね450点以上

注：大学入学共通テスト平均点の動向や志願状況などによっては基準点を下げる場合があります。

【大学入学共通テスト】

教科・科目			受験を要する教科・科目名																																
			国語	地理歴史				公民				数学						理科						外国語											
学部・学科・専攻			パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
医学部	保健学科	看護学専攻	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
			1	1										1	1			2			1														
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1	1										1	1			1			1														
		理学療法学専攻 作業療法学専攻	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1	1										1	1			2			1			1											
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1	1										1	1			2			1			1											
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
			1	2										1	1			2			1			1											
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1	2										1	1			1			1			1											

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【医学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・専攻			実 施 教 科 等	
			教科等	採点・評価の観点、基準等
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	小 論 文	医療技術者としての適性と資質を判断するため、思考力、表現力、判断力などをみます。
			面 接	地域における医療に貢献したいという強い意欲、人の健康・生活に対する関心や基本的理解、学習意欲と目的意識について評価します。出願書類（自己推薦書、調査書）を面接の参考資料とし、主体性を持って様々な人々と協調する態度を評価します。
		理 学 療 法 学 専 攻	小 論 文	医療技術者としての適性と資質を判断するため、思考力、表現力、判断力などをみます。
			面 接	理学療法士としての適性と資質、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を判断します。そのため、思考力、判断力、表現力などに加え、超少子高齢社会、及び地域社会への関心や貢献するための意欲・態度、コミュニケーション能力、協調性などをみます。出願書類（自己推薦書、調査書）を面接の参考資料とします。
		作 業 療 法 学 専 攻	小 論 文	医療技術者としての適性と資質を判断するため、思考力、表現力、判断力などをみます。
			面 接	地域医療に貢献する強い意欲、人の健康・生活に対する関心や理解、学習意欲と目的意識、他者への共感とコミュニケーション能力、協調性などをみます。出願書類（自己推薦書、調査書）を面接の参考資料とします。

5. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

学部・学科・専攻			試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面接	合 計
医 学 部	保 健 学 科	看護学専攻	大学入学 共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)	100 (100 × 1.0 × 1)	200 (100 × 1.0 × 2)	100 (100 × 1.0 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)			800 注5
			個別学力 検査等						200	200	400
		理学療法学専攻	大学入学 共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)	※ 100 (100 × 1.0 × 1) ※ 100 (100 × 1.0 × 1)	200 (100 × 1.0 × 2)	※ 100 (100 × 1.0 × 1) ※ 100 (100 × 1.0 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)			900 注5
			個別学力 検査等						200	300	500
		作業療法学専攻	大学入学 共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)	※ 100 (100 × 1.0 × 1) ※ 100 (100 × 1.0 × 1)	200 (100 × 1.0 × 2)	※ 100 (100 × 1.0 × 1) ※ 100 (100 × 1.0 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)			900 注5
			個別学力 検査等						200	300	500

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）

注2：大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を4：1とします。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点に換算して利用します。

注4：大学入学共通テスト欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。

注5：大学入学共通テストの合計得点は、合格者を決定する際に、本学医学部保健学科が定める基準を満たしているか否かの判定に使用します。

6. 合格者の決定方法

1. 個別学力検査等の総合点に基づいて合格者を決めます。その際、大学入学共通テストの得点は、本学医学部保健学科が定める基準を満たす必要があります。
2. 面接において面接員が「不可」の評価をした場合は、合格者としません。
3. 総合型選抜Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

Ⅳ－６ 総合型選抜Ⅱ【理工学部】

１．選抜関係日程

出願期間：令和３年１２月１５日（水）～令和３年１２月２１日（火）（必着）
試験日：令和４年１月２１日（金）
合格発表日：令和４年２月１０日（木）
入学手続期間：令和４年２月１７日（木）～令和４年２月１８日（金）（必着）

２．出願資格、募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	出 願 資 格
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	４ 人	次のいずれかに該当する者で、合格した場合入学を確約できる者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和４年３月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和４年３月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和４年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	３ 人	
	材 料 理 工 学 コ ー ス	４ 人	
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 科 コ ー ス	２ 人	
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	７ 人	
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	３ 人	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	６ 人	
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	７ 人	
計		３ ６ 人	

３．選抜方法

選抜方法：大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目		受験を要する教科・科目名																														
		国語	地理歴史				公民			数学					理科					外国語												
学部・学科・課程等		パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	①	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
														1		1			2			1			1							
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
															1		1						2			1						

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【理工学部における注意事項】

- ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- イ 理科で「基礎を付した科目」２科目と「基礎を付さない科目」１科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算してして利用します。
- エ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース			個 別 学 力 検 査 等
理 工 学 部	生 命 科 学 科	生 命 科 学 コ ー ス	面 接
	物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	面 接
		材 料 理 工 学 コ ー ス	面 接
	数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス	面 接
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	面 接
		人 間 情 報 工 学 コ ー ス	面 接
	シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	面 接
		土 木 環 境 工 学 コ ー ス	面 接

4. 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

学部・学科・コース		試験の 区 分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面接	合 計	
理 工 学 部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	大学入学 共通テスト			200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)			600	700
		個別学力 検査等							100	100	

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）

注2：大学入学共通テストの理科の素点は，「基礎を付した科目」2科目選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は，「リーディング」と「リスニング」の配点比率を，理工学部は1：1とします。

なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。

V-1 国際バカロレア入試【国際資源学部】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年（2021年）9月1日（水）～令和3年9月7日（火）（必着）
 試験日：令和3年（2021年）10月2日（土）
 合格発表日：令和3年（2021年）11月1日（月）
 入学手続期間：令和3年（2021年）11月11日（木）～令和3年11月17日（水）（必着）

2. 募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
国際資源学科	資源政策コース	若干名
	資源地球科学コース	若干名
	資源開発環境コース	若干名

3. 出願要件

次の①、②のすべてに該当する者で、合格した場合入学を確約することができる者

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和2年（2020年）4月以降に授与された者および令和4年（2022年）3月までに授与見込みの者
- ② 国際バカロレア資格の取得において、次のアおよびイに該当する者
 - ア 言語Aを「英語」によりHL（Higher Level）で履修した成績評価が4以上の者、又は言語Bについて「英語」をHLで履修した成績評価が4以上の者
 - イ 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者

コ ー ス	出 願 要 件
資源政策コース	個人と社会（第3グループ）から1科目（HLで成績評価が4以上）
資源地球科学コース	数学（HLで成績評価が4以上） 物理、化学、生物から1科目（HLで成績評価が4以上）
資源開発環境コース	数学（HLで成績評価が4以上） 物理、化学、生物から1科目（HLで成績評価が4以上）

4. 選抜方法

出願書類と面接の結果を総合的に評価します。

面接は日本語または英語で行います。なお、面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

コ ー ス	実 施 教 科 等	
	学科等	採 点 ・ 評 価 の 観 点 ， 基 準 等
資源政策コース	面 接	面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
資源地球科学コース	面 接	面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
資源開発環境コース	面 接	面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

V-2 国際バカロレア入試【教育文化学部】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年(2021年) 9月 1日(水) ～ 令和3年 9月 7日(火) (必着)
 試験日：令和3年(2021年) 10月 2日(土)
 合格発表日：令和3年(2021年) 11月 1日(月)
 入学手続期間：令和3年(2021年) 11月 11日(木) ～ 令和3年 11月 17日(水) (必着)

2. 募集人員

課程・学科およびコース		募集人員
学校教育課程	教育実践コース	若干名
	英語教育コース	若干名
	理数教育コース	若干名
	特別支援教育コース	若干名
	こども発達コース	若干名
地域文化学科		若干名

3. 出願要件

次の①および②に該当する者

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和4年(2022年)3月までに授与された者および授与見込の者
- ② 国際バカロレア資格の取得において、次のアおよびイに該当する者
 ただし、イに該当する科目はアに該当する科目と別科目とする。
 ア 言語Aを「日本語」によりHL(Higher Level)で履修した成績評価が4以上の者、または言語Bについて「日本語」をHLで履修した成績評価が6以上の者
 イ 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者

課程・学科およびコース		出 願 要 件
学校教育課程	教育実践コース	第1～6グループから1科目(HLで成績評価が4以上)
	英語教育コース	第1～5グループから1科目(HLで成績評価が4以上)
	理数教育コース	
	特別支援教育コース	
	こども発達コース	
地域文化学科		第1グループまたは第3グループから1科目(HLで成績評価が4以上)

4. 選抜方法

面接により評価します。面接を通じて「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

課程・学科およびコース		面 接 方 法
学校教育課程	教育実践コース	日本語で行います。ただし、出願の際に選択した入学後の希望教科において「英語」を選択した場合は英語および日本語で行います。
	英語教育コース	英語および日本語で行います。
	理数教育コース	日本語で行います。また、面接には口頭試問を含みます。口頭試問は出願の際に選択した教科・科目(数学、物理、化学、生物、地学)に関するもので行います。
	特別支援教育コース	日本語で行います。
	こども発達コース	日本語で行います。
地域文化学科		日本語で行います。

V-3 国際バカロレア入試【理工学部】

1. 選抜関係日程

出願期間：令和3年(2021年) 9月 1日(水) ～ 令和3年 9月 7日(火) (必着)
 試験日：令和3年(2021年) 10月 2日(土)
 合格発表日：令和3年(2021年) 11月 1日(月)
 入学手続期間：令和3年(2021年) 11月 11日(木) ～ 令和3年 11月 17日(水) (必着)

2. 募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
生 命 学 科	生 命 学 コ ー ス	若干名
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	若干名
	材 料 理 工 学 コ ー ス	若干名
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 コ ー ス	若干名
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	若干名
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	若干名
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	若干名
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	若干名

3. 出願要件

次の①、②のすべてに該当する者で、合格した場合入学を確約することができる者

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和4年(2022年)3月までに授与された者および授与見込みの者
- ② 国際バカロレア資格の取得において、次のアおよびイに該当する者
 - ア 言語Aを「日本語」により履修した者、または言語Bについて「日本語」を履修した者
 - イ 本学の指定する次表の科目を履修した者

コ ー ス	出 願 要 件
生 命 学 コ ー ス	物理, 化学, 生物から1科目 (HL)
応 用 化 学 コ ー ス 材 料 理 工 学 コ ー ス	物理, 化学から1科目 (HL)
数 理 学 コ ー ス	数学 (HLまたはFHL)
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	数学 (HLまたはFHL) 物理 (HL)
人 間 情 報 工 学 コ ー ス	数学 (HLまたはFHL)
機 械 工 学 コ ー ス 土 木 環 境 工 学 コ ー ス	数学 (HLまたはFHL) 物理 (HL)

4. 選抜方法

面接により評価します。面接を通じて「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、面接は日本語で行います。また、面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

Ⅵ 私費外国人留学生入試

1. 選抜関係日程

学 部	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続期間
国際資源学部	令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和4年(2022年)	令和4年(2022年)
教育文化学部	12月22日(水)	1月21日(金)	2月10日(木)	2月17日(木)
理 工 学 部	12月24日(金) (必着)			2月18日(金) (必着)
医 学 部	令和4年(2022年)	令和4年(2022年)	令和4年(2022年)	令和4年(2022年)
	1月24日(月) 2月2日(水) (必着)	2月25日(金) 26日(土) (保健学科は25日のみ)	3月7日(月)	3月14日(月) 3月15日(火) (必着)

2. 出願要件

- ・国際資源学部、教育文化学部、医学部保健学科および理工学部を志願する者は次の(1)から(4)のすべてに該当する者
 - ・医学部医学科を志願する者は次の(1)から(5)のすべてに該当する者
- (1) 日本国籍を有しない者(※1)
 - (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(2022年3月31日までに修了見込みの者を含む。)またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者
 - ⑥ アメリカ合衆国のWASCまたはACSI、もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者(2022年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの(※2)
 - (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2021年度(令和3年度)日本留学試験の本学が指定する教科・科目を受験した者
 - (4) 出入国管理および難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者または取得できる見込みの者(※3)
 - (5) 日本留学試験科目の「日本語」において、読解、聴解・聴読解の得点が満点(400点)の90%以上の者(医学部医学科志願者のみ)

※1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)を卒業した者、または同等以上の資格を得た者、および日本の永住許可を得ている者は、一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり、「私費外国人留学生入試」には出願できません。ただし、外国の教育機関における修学を主としてきた者で、日本の高等学校に編入し、修了または修了見込みで、一般選抜による受験が著しく困難と認められる場合は「私費外国人留学生入試」への出願を認める場合がありますので、該当すると思われる場合は、令和3年(2021年)11月30日(火)までに秋田大学入試課へ照会してください。

※2 個別の資格審査を要する場合は、85～86ページを参照の上、下記期日までに申請してください。
申請受付期限: 令和3年(2021年)11月30日(火)(必着)

※3 「留学」以外の在留資格を有する者は、入学手続後速やかに「留学」の在留資格に変更する必要があります。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等および2021年度(令和3年度)日本留学試験(6月または11月実施の試験を利用)の結果、2020(令和2)年1月以降に受験したTOEIC L&RまたはTOEFL iBTの成績(国際資源学部のみ)を総合して判定します。

4. 入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学科・課程・専攻・コース		個別学力検査等	募集人員	日本留学試験の利用科目					TOEIC L&R または TOEFL iBT のスコア
					日本語	総合科目	数 学	理 科	出題言語	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面接	5	○	○	(コースは自由選択)	×	自由選択	○
		資源地球科学コース	面接		○	×	(コース2)	(物理, 化学)	自由選択	
		資源開発環境コース	面接		○	×	(コース2)	(物理, 化学)	自由選択	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	「実技検査(音楽・美術・体育から1)および面接」または「小論文および面接」	若干名	○	○	×	×	日本語	×
		英語教育コース	小論文(英文)および面接(英語および日本語)		○	○	×	×	日本語	
		理数教育コース	面接(数学と理科に関する試問を含む)		○	×	(コース2)	(2科目自由選択)	日本語	
		特別支援教育コース	小論文および面接		○	○	×	×	日本語	
		こども発達コース	小論文および面接		○	○	(コースは自由選択)	×	日本語	
	地域文化学科	小論文および面接	○		△	(コースは自由選択)	(2科目自由選択)	日本語		
		△から1つ選択								
医学部	医 学 科		数(数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B) 英(コミュニケーション英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 英語表現Ⅰ, Ⅱ) 面接	若干名	○	×	(コース2)	(2科目自由選択)	自由選択	×
	学保科健	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	英(コミュニケーション英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 英語表現Ⅰ, Ⅱ) 面接	若干名	○	×	(コースは自由選択)	(2科目自由選択)	自由選択	
理工学部	生命科学科	生命科学コース	面接(物理, 化学, 生物から受験者が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)	2	○	×	(コース2)	(2科目自由選択)	自由選択	×
	科学物質科	応用化学コース	面接(物理および化学の基礎学力に関する試問を含む)	4	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
		材料理工学コース	面接(物理および化学の基礎学力に関する試問を含む)	2	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
	数理情報科学科	数理科学コース	面接(数学の基礎学力に関する試問を含む)	3	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
		電気電子工学コース	面接(物理の基礎学力に関する試問を含む)	2	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
		人間情報工学コース	面接(数学分野に関する知識についての質問を含む)	2	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
	システムデザイン工学科	機械工学コース	面接(数学および物理の基礎学力に関する試問を含む)	5	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×
		土木環境工学コース	面接(数学および物理の基礎学力に関する試問を含む)	1	○	×	(コース2)	(物理・化学)	自由選択	×

注1) ○は利用する科目, ×は利用しない科目, △は選択科目を表します。

2) 本学では, 大学入学共通テストを課しません。

3) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人 日本学生支援機構留学生事業部留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

5. 注意事項

- ① 学部により出願要件や試験日が違いますので, 間違えないように注意してください。
- ② 今後, 変更がある場合は秋田大学ホームページでお知らせしますので, 確認してください。また, 私費外国人留学生入試の詳細については, 「私費外国人留学生入試学生募集要項」で必ず確認してください。

VII 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試【理工学部】

「渡日前入学許可制度」とは、日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」（日本国外にて受験したもの）の成績およびその他の出願書類（高校の成績、TOEFL等）により審査を行い、合格者の入学を許可する制度です。この制度を利用すれば、受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能となります。

1. 選抜関係日程

出 願 期 間 ： 令和3年（2021年） 7月29日（木） ～ 令和3年 8月 4日（水）（必着）
合格者の発表 ： 令和3年（2021年） 11月 1日（月）
入学手続期間 ： 令和3年（2021年） 11月29日（月） ～ 令和3年12月 3日（金）（必着）

2. 出願要件

次の（1）から（4）のすべてに該当する者

（1）日本国籍を有さず、日本国内に居住しない者

（2）次のいずれかに該当する者

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2022年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者

⑥ アメリカ合衆国のWASCまたはACSI、もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2022年3月31日までに修了見込みの者を含む。）

（3）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2021年度（令和3年度）日本留学試験（本学が指定する教科・科目）を受験した者

（4）出入国管理および難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または取得できる者

3. 選抜方法

入学者の選抜は、提出書類および日本留学試験（2021年実施の試験を利用）の結果を審査し、これをもって可否を判断します。

4. 募集人員および入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学 科	コース	募集人員	個別学力 検 査 等	日本留学試験の利用科目				
					日本語	総合科目	数 学	理 科	出題言語
理 工 学 部	生 命 学 科 科	生 命 学 学 コー ス	若干名	書類審査	○	×	○ (コース2)	2科目自由選択	自由選択
	物 質 学 科 科	応 用 化 学 コー ス						物理および化学	
		材 料 理 工 学 コー ス							
	数理・電気電子 情報学科	数 理 学 科 コー ス							
		電 気 電 子 工 学 コー ス							
		人 間 情 報 工 学 コー ス							
	システムデザイン 工学科	機 械 工 学 コー ス							
		土 木 環 境 工 学 コー ス							

注1) ○は利用する科目、×は利用しない科目を表します。

2) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課
〒153-8503東京都目黒区駒場4-5-29 電話03-6407-7457

VIII 秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

- 国際的な水準の教育・研究を遂行します。
- 地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
- 国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

1. 教育においては、質の国際通用性を高め、地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
2. 研究においては、地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより、イノベーションの創出を推進し、その成果を継続的に地域と世界に発信する。
3. 社会連携においては、教育研究成果を地域社会に還元し、地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに、地域医療の中核的役割を担う。
4. 国際化においては、資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに、学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
5. 大学経営においては、学長主導の下、学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ、透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では、21世紀の日本ならびに国際社会において、指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は、学生が幅広い教養と深い専門性、そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと、次のような資質や意欲をもった人を、入学者として求めています。

1. 学問への探求心を持ち、その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3. 地域社会や国際社会の諸課題を理解し、その解決に寄与したい人

『各学部・学科・課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部、学科、課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の項目によって成り立っており、入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）

●入学者選抜方法における重点評価項目

※学力の3要素

- ・知識・技能
- ・思考力・判断力・表現力
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

【国際資源学部】

【国際資源学科】

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力、表現力、読解力
英語—国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力、表現力、読解力
数学・理科—自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
地理歴史—世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さと理解力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、かつ日本語および外国語（英語）の文章からの確に情報を読み取る読解力と論理的表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で国語および外国語（英語）を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、背景となる地理および歴史の基礎知識を持ち、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また、個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は、面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち、資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し、持続可能な社会の実現に強い関心を持つ人を求めます。

そのため、小論文で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は、面接で主に「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち、資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は、面接で主に「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○
総合型選抜Ⅰ	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調 査 書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	推 薦 書	○	○	○
	調 査 書			○

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国 語—文章を読む読解力、論理的な思考力、自分の考えを表現できる表現力
- 英 語—英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
- 数 学—数学の基本的な概念の理解と計算力
- 地 理 歴 史—国内外で活躍するために必要な基本的な知識、教養
- 理 科—物理、化学、生物、または地学分野の内容の理解と科学的探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し、科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学、理科、外国語(英語)を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また、個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は、面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する強い知的好奇心と学習意欲を有し、地球科学分野の貢献による資源の探索・供給に関心を持つ人を求めます。

そのため、小論文で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は、面接で

主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○
総合型選抜Ⅰ	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調 査 書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	推 薦 書	○	○	○
	調 査 書			○

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
 数 学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力
 地歴・公民－地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通じた考察力
 理 科－物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学，理科，外国語(英語)を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲、知的好奇心を有し、かつ自らの考えを論理的かつ的確に表現できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また、個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は、面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲、資源を通じて地域や世界の持続可能な発展に強い関心を持つ人を求めます。

そのため、小論文で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は、面接で主に「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等として面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は、面接で主に「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○
総合型選抜Ⅰ	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調 査 書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	推 薦 書	○	○	○
	調 査 書			○

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等として「小論文および面接」または「実技検査（音楽・美術）および面接」を課して，主として「教員に求められる基礎的知識とコミュニケーション能力，教育に対する情熱と意欲，技能および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書等は，実技検査（音楽・美術）および面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	実技検査関係資料				○	○
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○	○	
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	実技検査関係資料				○	○
	面接				○	○
	調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅰ	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小論文	○	○	○	○	
	面接（口頭試問含む）	○	○		○	○
	実技検査関係資料				○	○
	志願理由書				○	○
	推薦書・調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小論文	○	○	○	○	
	面接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し，理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり，英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち，学習する機会を積極的に捉え，英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し，自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語 語—言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語教育を広い視野から理論的・実践的に学ぶ意欲を持ち、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等として国語、英語（リスニング、スピーキングを含む）の2教科および面接を課して、主として「日本語による論理的な思考力、英語による論理的理解力・表現力、英語教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語における論理的な思考力および豊かな発想に基づく表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で英語（スピーキング）、小論文（英文）および面接を課して、主として「大学での学習に必要とされる言語に関する読解力・表現力・論理的思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、高等学校等において優れた学業成績を修め、かつ英語による論理的思考力および表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文（英文）および面接（英語スピーキングを含む。）を課して、主として「英語による論理的思考力、豊かな表現力、国際的視野、英語教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書および推薦書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接(英語スピーキングを含む)	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学（数学Ⅲを含む）の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で数学，英語および理科から2教科を課して，主として「数学・自然科学に関する知識・技能，論理的思考力・判断力・表現力」を評価します。

また，調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で面接（板書等による記述を課す試問を含む）を課して，主として「表現力，意欲，関心，態度，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書は，面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持つとともに高等学校等において優れた学業成績を修め，なおかつ理数教育コースでの学習および教員の仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で面接（数学または理科の板書等による記述を課す試問を含む）を課して，主として「論理的思考力，表現力，理数教育に対する関心・意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	面接（※試問を含む）	○	○	○	○	○
	調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	面接（※試問を含む）	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

※板書等による記述を課す試問

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力と読解、表現、論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力、他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文および面接を課して、主として「主体性を持って多様な人々と協働して物事に取り組み学ぶ態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き

平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理 科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、
および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、読解、表現、論理的思考に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、資料の分析と読解および自分の考えの表現に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で記述問題および面接（集団討論を含む）を課して、主として「資料の分析と読解および自分の考えを表現する能力と、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に対する関心と意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に高い関心と意欲を持つとともに、論理的思考力、読解力、表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文と面接（口頭試問を含む）を課して、主として「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等での仕事に対する関心・意欲と、論理的思考力、読解力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書および推薦書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調 査 書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	記述問題	○	○	○		
	面接（集団討論を含む）	○	○	○	○	○
	調 査 書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小 論 文	○	○	○		
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的

- な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
 4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- | | | |
|-------|---|---|
| 国 | 語 | — 国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度 |
| 英 | 語 | — 言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力 |
| 数 | 学 | — 数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度 |
| 地歴・公民 | — | 日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質 |
| 理 | 科 | — 自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観 |

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

高等学校等で学ぶ全科目のバランスのとれた基礎知識を有し、さらに読解力や語学力、論理的思考について高い能力を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力・判断力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、日本語による表現力と自己の見解を論理的かつ説得力を持って展開する能力を有する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文および面接を課して、主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

《総合型選抜Ⅰ》

豊かで個性的な人間性を持ち、かつ論理的思考力や表現力を持つとともに、特に地域連携あるいは国際交流を通じた地域への貢献に強い関心を持ち、行動している人を求めます。

そのため、個別学力検査等として小論文、地域連携あるいは国際交流に関するプレゼンテーションおよび面接を課して、主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、コミュニケーション能力および地域貢献への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書等は、プレゼンテーションおよび面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

豊かで個性的な人間性を持ち、高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、かつ論理的思考力や表現力を持つとともに地域貢献に強い関心を持ち、行動しているあるいはしようとする人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で、小論文および面接を課して、主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、コミュニケーション能力および地域貢献への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書および推薦書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調 査 書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小 論 文	○	○	○		
	面 接				○	○
	調 査 書				○	○
総合型選抜Ⅰ	小 論 文	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○	○	○
	面 接				○	○
	調 査 書				○	○
	活動内容記載書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小 論 文	○	○	○		
	面 接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では、豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1. 病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2. 医療・保健・福祉の発展を目指して一生にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3. 素直で協調性に富み、周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

【医学科】

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国	語—文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
英 数	語—国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
地歴・公民	—将来、地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
理	科—「生物」、「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
そ の 他	—ストレスに負けない体力と精神力、周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で英語および数学の2教科と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価し、調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で、小論文と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価し、調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価します。

秋田県地域枠による選抜については、秋田県修学資金受給の意思、卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲、地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲の有無を重視して選抜します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業その他に優れた成績を修め、感性豊かな人間性を持ち、他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに、医療・医学への研究志向を有する知的な好奇心に満ちた学生を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で、小論文と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価し、調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価します。

地域枠による選抜については、秋田県修学資金受給の意思、卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲、地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲の有無を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○			
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書			○	○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○			
	小論文	○	○	○		
	面接		○	○	○	○
	調査書			○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○			
	小論文	○	○	○		
	面接		○	○	○	○
	推薦書			○	○	○
	調査書			○	○	○

〔保健学科〕

《看護学専攻》

●求める人物像

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支援したいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育んでいける人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章の的確な理解と論理的に思考し表現する力、およびコミュニケーション能力
 英語—読解・表現に関わる幅広い基礎知識と英語でコミュニケーションをとろうとする積極性
 数学—数学の基本的原理・法則の理解、正確な計算力と論理的な思考力
 地歴・公民—地域社会の地理的・歴史的背景や仕組みを理解する力と社会情勢の変化に対する関心
 理科—生命現象や自然の諸現象を科学的に考察し説明する能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、かつ論理的に思考し、看護の実践ができる資質を備えた人を求めます。同時に国際的な視野を持ち、知的関心度が高く、かつ人間性に優れた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」、「関心・意欲・態度」、「協調性」を評価します。

なお、調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《総合型選抜Ⅱ》

看護学を学ぶために必要な基礎学力と看護職に対する興味と向上心を持ち、かつ地域社会における課題に関心がある学生を求めます。また、他者と協働しながらリーダーシップを発揮し、課題解決に向けて主体的に行動できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力」、「表現力」を、面接で「思考力・判断力」、「表現力」、「関心・意欲・態度」、「協調性」を評価します。

なお、調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小論文		○	○		
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
	自己推薦書			○	○	

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民－地域や国際社会で良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養

理 科－全般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理学療法士としての適性、科学的・論理的思考能力とグローバルな視野を持った人を求めます。特に人間の理解と障害のある人への関心度の高い人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。

なお、調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《総合型選抜Ⅱ》

超少子高齢社会および地域社会において、理学療法士として活躍できる有為な人材を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価します。個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力」，「表現力」を、面接で「思考力・判断力」，「表現力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。

なお、調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小論文		○	○		
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
	自己推薦書			○	○	

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり、学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち、科学的探究心の強い人
3. 地域の抱える諸問題に関心があり、他者をよく理解し、細やかな配慮や行動・発言ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語ー地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学ー数学の基本的な概念や原理の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民ー将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な幅広い知識と教養

理 科ー全般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

作業療法を学ぶために必要な，十分な基礎学力と優れたコミュニケーション能力および対人技能，国際的視野を持った人を求めます。特に，欧米や日本において発展してきた作業療法学の多様な考えかたや理論を理解する能力のある人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「英語の学力」，「コミュニケーション能力と対人技能」を評価します。

なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《総合型選抜Ⅱ》

地域が抱える諸問題に関心があり，その解決に取り組む意欲のある人を求めます。

そのため大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力・表現力」を，面接で「思考力・表現力・判断力」，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小論文		○	○		
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○
	自己推薦書			○	○	

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

【生命科学科】

●求める人物像

生命科学科では、生命倫理を十分に理解しながら、既存の枠組みにとらわれない独創的で、総合的・先端的な生命科学を築き上げる開拓者精神に富む学生を歓迎します。生命科学科は、次のような人を求めます。

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物についての十分な学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①高校で学んだ専門性を生かした生命科学の研究展開への関心、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①理工系の素養を生かした生命科学の研究展開への関心、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
総合型選抜Ⅰ (出願資格A)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅰ (出願資格B)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

[物質科学科]

●求める人物像

物質科学科では、原子・分子レベルからの物質設計ならびに製造技術を理解し、新機能性材料や新化学プロセス技術の創製に関する研究と開発ができる人材を養成することを使命と捉え、次のような人を入学者として求めます。

1. 物理や化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や、化学を活かしたものづくりに興味がある人
3. 金属、半導体、セラミックスを利用した先端機能材料の開発に興味のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

- 数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力
- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりへの強い関心、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①化学による課題解決に積極的に取り組む姿勢、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
総合型選抜Ⅰ (出願資格A)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅰ (出願資格B)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書			○

《材料理工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①金属、半導体、セラミックスを利用したものづくりに対する興味・関心、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①理数系に必要な基礎学力、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
総合型選抜Ⅰ (出願資格A)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅰ (出願資格B)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書			○

[数理・電気電子情報学科]

●求める人物像

数理・電気電子情報学科では、数理科学、情報工学、電気電子工学に関する最先端の知識や技術を身に付け、また、複雑化する社会の到来に向けて、自ら学び、考えて、行動して、地域社会に貢献する技術者や研究者の育成を目指します。選考においては以下の点を重視します。

1. 数学や物理の持つ純粋科学の美しさと不思議さに惹かれ、物事や自然の原理や仕組みについて深く知りたいと思う強い気持ちがあり、粘り強く考えることが出来る人
2. 再生可能エネルギー、産業機器や家電に用いられる光・電子デバイス、情報通信技術や制御システムなどに興味があり、最先端の技術者や研究者を目指す意欲のある人
3. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術を学び、医療、福祉、環境、防災などの地域社会の課題解決や新たな価値創造に取り組みたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

数学，物理学，計算機科学に対する強い関心と学習意欲を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，数学，物理学，計算機科学に対する強い関心を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
総合型選抜Ⅰ (出願資格A)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー、創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信や医療機器、社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②電気電子工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりへの関心、②電気電子工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

電気電子工学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ （出願資格A）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅰ （出願資格B）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す、意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

- 数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」などの）理解に基づく数学的思考力
- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学科（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①情報通信技術に対する強い関心と学習意欲、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕分野に関する知識についての質問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①情報通信技術を活かしたもののづくりへの強い関心、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕分野に関する知識についての質問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①情報通信技術やヒトを中心としたシステム設計に対する強い関心、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ （出願資格A）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅰ （出願資格B）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

[システムデザイン工学科]

●求める人物像

システムデザイン工学科では、環境、福祉、医療、都市、輸送、交通、防災など、社会の様々なシステムの問題に対して、基盤となる工学や技術を適切に応用し、自分で考えて問題解決できる人材の育成を目指し、次のような人を求めます。

1. 工学の基礎から実践までを学び、社会の要請に応え、地域社会へ積極的に貢献できる技術者
2. 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な技術開発に挑戦したい人
3. 様々な要素が複雑に絡みあう問題に対して、多面的に捉え柔軟な解決方法を提案できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化、医療福祉工学、環境にやさしい機械工学の3分野のいずれかに興味を持ち、深く学びたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
 そ の 他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりに対する関心、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

機械工学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ （出願資格A）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅰ （出願資格B）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
 国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
 そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａの全項目と数学Ｂの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）》

①ものづくりへの関心、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａの全項目と数学Ｂの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

大学入学共通テストの成績を含め、学業成績が優秀であり、土木環境工学コースでの勉学に強い意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 （主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ （出願資格Ａ）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅰ （出願資格Ｂ）	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面 接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調 査 書			○

国際バカロレア入試

【国際資源学部】

〔国際資源学科〕

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し、持続可能な社会の実現に強い関心を持つ人を求めます。

そのため、提出書類で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する強い知的好奇心と学習意欲を有し、地球科学分野の貢献による資源の探索・供給に関心を持つ人を求めます。

そのため、提出書類で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査、資源・エネルギーの生産手法、リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し、新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し、環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献することに強い関心を持つ人を求めます。

そのため、提出書類で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

【学校教育課程】

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

《教育実践コース》

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力とともに、国際的視野に立って、学校教育への興味関心を持ち、論理的・実践的に学ぶ能力を備えた人を求めます。

そのため、面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力及び英語能力を有するとともに、異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、国際的な視野を持ちながら学校での英語教育に貢献できる人を求めます。

そのため、面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人

2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、理数教育コースにおける学習および教員の仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。そのため、面接(数学または理科の口頭試問を含む)を課して、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「理数教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、国際的な視野を持ちながら保育・教育に貢献できる人を求めます。

そのため、面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、論理的思考力や表現力について高い能力を有し、地域への貢献に強い関心を持って行動しようとする人を求めます。

そのため、面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、出願書類は面接において活用します。

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[生命科学科]

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。また、国際的な視野を持ち、創造的に行動できる人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[物質科学科]

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。また、国際的な視野を持ち、創造的に行動できる人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《材料理工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学，物理学，計算機科学に対する強い関心と学習意欲を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー，創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信や医療機器，社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②電気電子工学コースで学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで，論理的思考に習熟し，対象を広く，また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す，意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①情報通信技術に対する強い関心と学習意欲，②豊かな人間性と感性，③地域社会の発展への強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を，面接の参考資料とします。

[システムデザイン工学科]

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人

2. 設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化，医療福祉工学，環境にやさしい機械工学の3分野のいずれかに興味を持ち，深く学びたい人

●入学選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②理工学部で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②理工学部で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

私費外国人留学生入試

【国際資源学部】

〔国際資源学科〕

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に対する興味と学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査、資源・エネルギーの生産手法、リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し、新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し、環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

【教育文化学部】

〔学校教育課程〕

《教育実践コース》

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として「小論文および面接」または「実技検査（音楽、美術、体育）および面接」を課して「読解力、論理的思考能力、発想力、文章表現力、および技能・表現力」を評価します。

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文（英文）および面接（英語および日本語）を課して「大学での学習に必要とされる言語に関する読解力・表現力・論理的思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学と理科に関する試問を含む）を課して「知識、論理的思考力、表現力、関心、意欲、態度」を評価します。

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文および面接を課して「他者と協働して物事に取

り組む態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文と面接を課して「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に対する関心・意欲と、論理的思考力、読解力、表現力」を評価します。

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力と、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、国際交流推進や国際化支援の分野で地域に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として、小論文および面接を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、コミュニケーション能力および地域貢献への意欲」を評価します。

【医学部】

〔医学科〕

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を有し、本医学科の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来の医学分野の国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として、英語および数学の2教科と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協調性」、「将来性」を評価します。

〔保健学科〕

《看護学専攻》

●求める人物像

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育んでいける人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、看護学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、看護の分野で国際交流に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」、「関心・意欲・態度」、「協調性」を評価します。

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、理学療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力」、「関心・意欲・態度」、「協調性」を評価します。

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり、学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち、科学的探究心の強い人
3. 地域の抱える諸問題に関心があり、他者をよく理解し、細やかな配慮や行動・発言ができる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち、作業療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等で英語と面接を課して「英語の学力」、「コミュニケーション能力と対人技能」を評価します。

【理工学部】

[生命科学科]

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語（日本語）や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

●入学者選抜の基本方針

生命科学分野に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理、化学、生物から受験者が選択する1科目についての基礎的な試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[物質科学科]

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

理化学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理および化学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《材料理工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

理化学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理および化学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学、物理学、計算機科学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な科学者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学の基礎学力に関する試問を含む）を行い

「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー，創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信や医療機器，社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学選抜の基本方針

電気電子工学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで，論理的思考に習熟し，対象を広く，また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す，意欲のある人

●入学選抜の基本方針

理数系の学問に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学分野に関する知識についての質問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[システムデザイン工学科]

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化，医療福祉工学，環境にやさしい機械工学の3分野のいずれかに興味を持ち，深く学びたい人

●入学選抜の基本方針

機械工学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，工学や自然科学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

Ⅸ その他

1. 配慮を必要とする入学志望者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、「受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書」に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、下記の期限までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○事前相談の期限

試 験 区 分 等	事前相談の期限
国際資源学部 総合型選抜Ⅰ 理工学部 総合型選抜Ⅰ 国際バカロレア入試	令和3年 8月18日（水）
医学部保健学科 総合型選抜Ⅱ	令和3年 9月29日（水）
学校推薦型選抜Ⅰ 教育文化学部 総合型選抜Ⅰ	令和3年10月20日（水）
学校推薦型選抜Ⅱ 理工学部 総合型選抜Ⅱ 私費外国人留学生入試（医学部以外）	令和3年12月 8日（水）
一般選抜 私費外国人留学生入試（医学部）	令和4年 1月19日（水）

○相談先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話 018-889-2256

「受験上および修学上の配慮を必要とする入学志望者の事前相談書」は、秋田大学ホームページを参照してください。（様式がダウンロードできます。）

秋田大学ホームページ <https://akita-u.ac.jp/>

「入試情報 → 特別措置」

2. 令和4年度秋田大学「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることになります。

令和4年度入試に関する入学資格審査は、次のとおり実施します。

1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、令和4年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- (2) 上記(1)以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できる者

2) 申請受付期限

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (1) 一般選抜 | 令和3年12月10日（金）（必着） |
| 国際資源学部総合型選抜Ⅰ | 令和3年8月10日（火）（必着） |
| 教育文化学部総合型選抜Ⅰ | 令和3年10月8日（金）（必着） |
| 理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A） | 令和3年8月10日（火）（必着） |
| 医学部保健学科総合型選抜Ⅱ | 令和3年9月22日（水）（必着） |
| 理工学部総合型選抜Ⅱ | 令和3年11月25日（木）（必着） |

ただし、大学入学共通テスト出願のための申請は、令和3年8月20日（金）（必着）とします。

- (2) 大学入学共通テスト受験後に、審査を申請する場合
令和4年1月17日（月）～19日（水）（必着）

3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書[別紙様式]に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

- (1) 上記1)の(1)による申請者
 - ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
 - イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
 - ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
 - エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
 - オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
 - カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書
- (2) 上記1)の(2)による申請者
 - ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
 - イ 社会での実務経験等（資格取得を含む）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

4) 審査方法

申請書類により審査を行いますが、申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

5) 審査基準

- (1) 上記1)の(1)による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。
- (2) 上記1)の(2)による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）について精査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを審査します。

6) 認 定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。
入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は、簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金694円分（令和3年10月1日以降は664円分）の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）

なお、審査を申請するに当たっては、事前に次に照会願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
秋田大学入試課（電話 018-889-2256）

○別紙様式（A4判）

秋田大学入学資格認定申請書	
令和 年 月 日	
秋田大学長 殿	
(ふりがな) 申請者氏名 (自署)	(男・女)
生年月日	年 月 日生
私は、令和4年度秋田大学入学者選抜試験を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。	
記	
出願希望学部	: _____
申請者住所	: 〒 _____ _____
電話番号	: _____ () _____

3. 検定料金免除について

秋田大学では、災害救助法が適用される自然災害により被災した方が、経済的理由により大学進学を断念することがないよう、検定料について免除措置を行います。詳細については、秋田大学ホームページ（<https://www.akita-u.ac.jp/>）「入試情報→検定料免除」で確認してください。

4. 一般選抜における入試過去問題の使用について

- 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者にわかるような形で公表します。

5. 学生募集要項の公表・請求方法

(1) 学生募集要項の公表

一般選抜学生募集要項・・・・・・・・・・令和3年11月下旬 ※

学校推薦型選抜学生募集要項・・・・・・・・・・令和3年 9月下旬 ※

※ 一般選抜学生募集要項および学校推薦型選抜学生募集要項については、インターネット出願のため、冊子の配付は行いません。発表後、秋田大学ホームページからダウンロードまたは閲覧してください。

私費外国人留学生入試学生募集要項・・・・・・・・・・令和3年 9月下旬

総合型選抜および国際バカロレア入試の学生募集要項は、学部によって公表時期が異なるので、秋田大学ホームページで確認してください。（6月～9月頃）

(2) 請求方法

◆テレメールで請求する場合

1) 本学ホームページからの請求

詳しくは、秋田大学ホームページ（<https://www.akita-u.ac.jp/>）
「入試情報→資料請求」をご覧ください。



2) インターネットまたは自動音声応答電話での請求

①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合	自動音声応答電話の場合
U R L https://telemail.jp	I P 電話（24時間受付） T E L 050-8601-0101
QRコード ※ QRコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。 	※ 一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 なお、住所・氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不明瞭な場合は、資料をお届けできないことがあります。

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金（予定）
入学案内	5 6 0 9 9 2	215円
入学者選抜要項	5 8 0 9 9 2	215円
国際資源学部総合型選抜Ⅰ-案内-	9 5 3 1 1 2	180円
国際資源学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項	9 5 3 1 2 2	180円
教育文化学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項	7 9 3 1 3 2	180円
医学部保健学科総合型選抜Ⅱ学生募集要項	7 9 3 1 4 2	215円
理工学部総合型選抜パンフレット	9 5 3 1 0 2	180円
理工学部総合型選抜学生募集要項	5 4 8 8 2 2	215円
私費外国人留学生入試願書・入学案内	5 8 0 9 8 2	250円
国際資源学部案内	5 4 8 8 4 2	180円
教育文化学部案内	5 6 0 9 6 2	180円
医学部医学科案内	5 4 0 9 8 2	180円
医学部保健学科案内	5 8 0 9 7 2	180円
理工学部案内	5 6 0 9 7 2	215円

国際バカロレア入試学生募集要項は、本学ホームページからダウンロードしてください。

③ガイダンスに従って登録してください。

1. 資料の送付先は日本国内のみとなります。
2. テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。
3. 資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。なお、17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。1週間以上経過しても届かない場合は次ページテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日までの請求は予約受付となります。
4. 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い）」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます（手数料が別途必要です）。

お問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター I P 電話 050-8601-0102 （9：30～18：00）

3）モバっちよで請求する場合

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）を利用してください。

URL <https://djc-mb.jp/akita-u3/>

QRコード



お問い合わせ先

モバっちよカスタマーセンター 電 話 050-3540-5005 （平日 10：00～18：00）

4）直接来訪する場合

秋田大学入試課の窓口で配付します（8：30～17：00）

ただし、土曜日、日曜日、祝日および12月29日～1月3日は、窓口配付を行いません。

資料の請求先および出願等に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

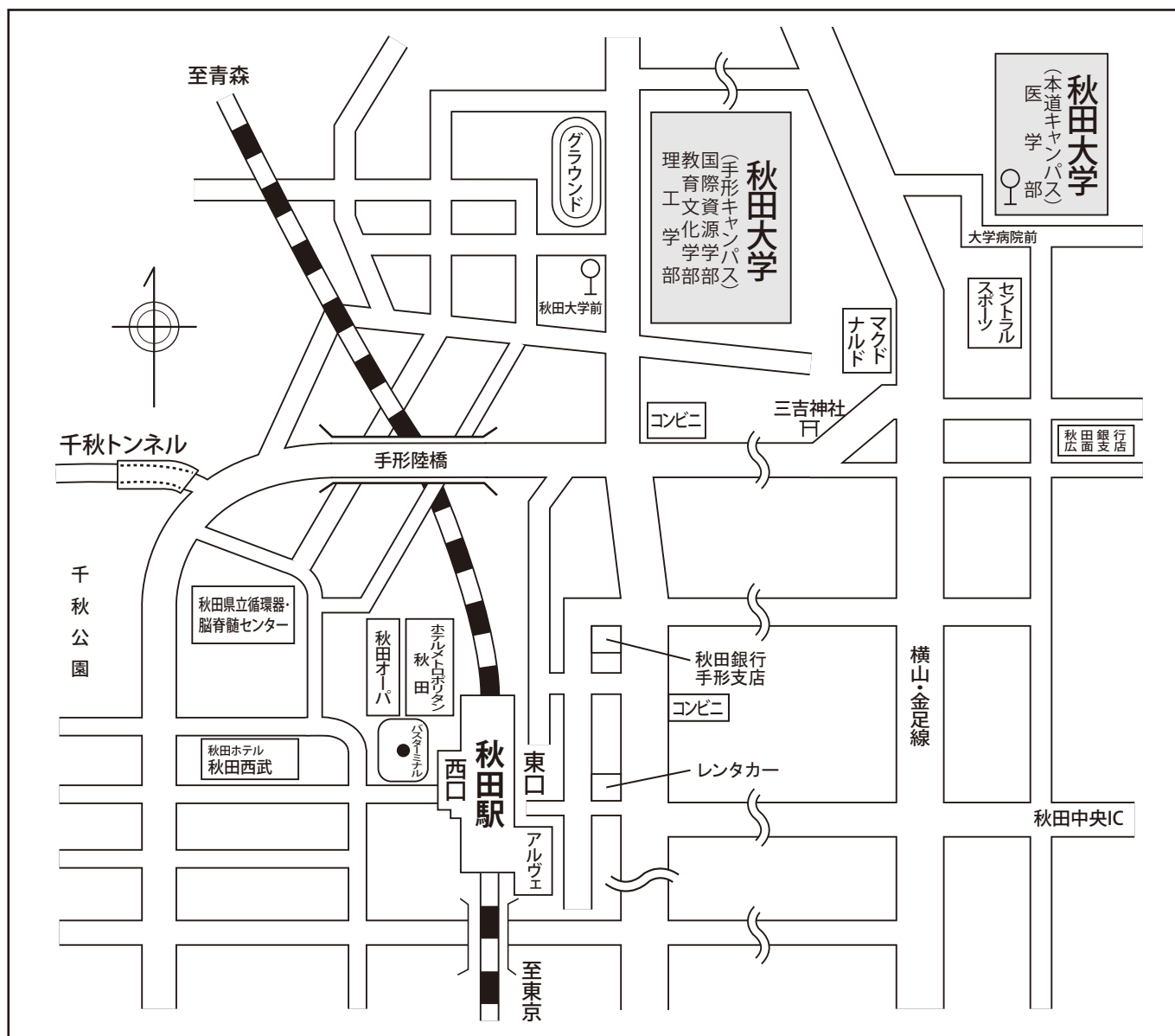
電 話 018-889-2256

URL <https://www.akita-u.ac.jp/admission/>

秋田大学受験生ポータルサイトQRコード



6. 大学の案内図



国際資源学部 教育文化学部 理工学部

の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山大学病院線

秋田大学前下車 徒歩 1 分

- 秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
徒歩15分 (約1.3km)

医学部の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば12番から
秋田中央交通バス手形山大学病院線

- 秋田駅西口バスのりば11番から
秋田中央交通バス 太平線, 松崎団地線,
赤沼線

- 秋田駅東口バスのりば 2 番から
秋田中央交通バス赤沼線

各線とも大学病院前下車 徒歩約 5 分

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号

TEL:018-889-2256 FAX:018-835-9924

URL <https://www.akita-u.ac.jp/>